

味の王国の「かみめし！」 お試しあれ

一律10万円を配った国の特別定額給付金。神戸市長が自身と妻との計20万円を寄付すると発表して話題になった。寄付先は兵庫県香美町。鳥取県境に近い県北の町である。なぜ、この町へ。

香美町は2014年、神戸市内に神戸営業所を開いた。以来、職員2人が駐在して町の特産食材を神戸市内の飲食店へ売り込み、観光PRに奔走する。だから「香美町と神戸市、それぞれの地域経済に貢献している」というのが寄付の理由である。

神戸市長も注目する異色の営業所だが、新型コロナウイルスの感染拡大で動きが止まった。メディアが取材で訪れる予定が、3月以降はすべて取りやめになった。旬の特産物を売り込もうにも、担当者と面会することも難しくなった。職員の引き揚げもささやかれたが、町長がこう助言したそうだ。「コロナ禍が収束した後をにらんで策を練ろう」

そこで目下、動画投稿サイト「ユーチューブ」を活用し、町の特産食材を使った家庭料理法を配信している。題して「かみめし！」。家庭料理というところがみそで、食材を取り寄せてもらおうというねらいだ。

レシピを考えるのは町内の観光施設や食品会社の関係者だ。なにしろ日本海に面しているのでマツバガニやイカなど海の幸に恵まれている。目を陸にやれば但馬牛。溪流にはアマゴも泳ぐ。1年を通し、おいしさを演出する味の王国である。

収録の台本は職員自身が書く。自らカメラの前に立ち、進行役も務める。すでに流れている動画は「但馬牛切り落としのすき焼き」と「カレイの干物の炊きこみご飯」。「香住の海鮮丼ランチフェア」も地元で開く。これも営業所の企画で8月31日まで。コロナ禍、2人の挑戦が続く。

神戸新聞社 特別編集委員 林芳樹



写真左) 食品会社のつくった「かみめし！」を紹介する神戸営業所員
写真右) ランチフェアで登場する海鮮丼